

イベント開催における新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

1. はじめに

本ガイドラインは、令和2年5月14日（5月29日付改訂）公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会より示された「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」、スポーツ庁が作成した「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」等を参考に作成し、公益社団法人日本3B体操協会が主催するイベントの開催における感染拡大防止対策の方針を示すものです。なお、日々多くの公的機関より新型コロナウイルス感染症に関する最新情報が更新されておりますので、今後の状況により、逐次見直すこととします。

2. 開催にあたっての基本的な考え方について

本ガイドラインを基本とし、政府やイベント開催地の都道府県の方針に従うことは大前提で、会場となる施設の利用者ガイドラインを遵守し、施設管理者とも相談をしながら感染拡大防止対策を適切に行ってまいります。

なお、参加人数（規模）については、屋内での開催で収容率の50%以内とした上で、段階的に設定された人数上限の範囲内で開催いたします。

また、感染拡大の兆候、クラスターの発生があった場合は、各都道府県知事の協力の要請等に基づき、中止、延期等の適切な対応を行います。

3. 開催における感染拡大防止対策について

（1）全般的な事項

- ① 感染拡大防止のため、主催者が留意すべき事項及び参加者が遵守すべき事項を整理し、参加募集時に事前案内するほか、当日も会場の適切な場所に掲示して周知する。
- ② 感染拡大防止対策がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認を行うとともに感染拡大防止への協力を要請する。
- ③ 障がい者や高齢者など参加者の特性にも配慮する。
- ④ スマートフォンを活用した接触確認アプリの導入、各都道府県で開発しているQRコード等による登録を参加者へ周知する。

(2) イベント参加募集時の対応

参加募集に際しては、事前に感染拡大防止のために以下の参加者が遵守すべき事項を明確にして協力を求めます。

(3) 参加者が遵守すべき事項

感染拡大防止のために参加者に以下のことを求めます。

- ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 - ・体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② マスクを持参すること。（参加受付時や着替え時等の会員発表を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用する）
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ④ 他の参加者、スタッフ等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること。（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- ⑤ イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ⑥ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- ⑦ イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

(4) 当日の参加受付時の対応

当日の受付にて密になることへの防止や、安全に開催できるように配慮して受付業務を行います。

- ① 受付窓口には、手指消毒剤を設置する。
- ② 参加者がマスクを準備しているかを確認する。
- ③ 受付時に検温体制を整え、発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないようにする。
- ④ 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽する。
- ⑤ 受付時に密を防止するため参加者が距離をおいて並べるように目印を設置する。
- ⑥ 受付を行うスタッフは、マスクを着用する。

- ⑦ 参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求める。
- ア 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）
※個人情報の取扱いに十分注意する。
 - イ 開催当日の体温
 - ウ 開催前2週間における以下の事項の有無
 - ・ 平熱を超える発熱（おおむね37度以上）
 - ・ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - ・ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 嗅覚や味覚の異常
 - ・ 体が重く感じる、疲れやすい等
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

(5) 主催者が留意すべき事項

参加者が安心安全に参加できるよう、主催者は大会運営にあたり以下のことに留意します。

- ① 運営スタッフの管理
 - ・ 大会を運営するスタッフは定期的な検温を行い、発熱など体調が悪い場合は参加を控える。
 - ・ マスクは常時着用する。
- ② 参加者の管理
 - ・ 参加者同士が密な状態とならないよう、必要に応じあらかじめ座席数を減らすなどの対応を行う。
 - ・ 大声での会話を控える、会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知する。
 - ・ 定期的に人の居ない所へ移動してマスクを外し、休憩して熱中症等の対策をとる。
- ③ 発表時の対策
 - ・ 会員発表は、十分な距離（2 m以上）をあけて位置取りをする。
 - ・ 用具は会員自身のものを使用し、貸し出しは行わない。
 - ・ プログラムは感染防止を考慮したものとする。

④ 施設の利用方法と管理

- ・開催する利用施設の利用者ガイドラインを遵守する。

ア 会場

- ・室内での開催となるため、換気の悪い密閉空間とならないよう、定期的に窓を開け外気を取り入れて十分な換気を行う。
- ・施設の空調設備を適切に運転する。
- ・開催中に適宜コロナ対策マナー放送をする。

イ 更衣室、休憩・待機スペース

- ・入退室の前後に手洗いをする。
- ・広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。
(障がい者の介助を行う場合を除く)
- ・ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じる。
- ・室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所については、こまめに消毒する。
- ・換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮する。

ウ トイレ・手洗い場所

- ・トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所については、こまめに消毒する。
- ・トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。
- ・手洗い場にはハンドソープ、アルコール等の手指消毒剤を用意する。
- ・ハンドドライヤーの使用は避け、手洗い後は参加者が持参したタオルを使用する。

エ 飲食について

- ・基本的に食事は不可とする。
- ・参加者が飲物を手にする前に手指消毒を行うこと、マスクを外すため会話をなるべく控えるようにアナウンスする。

オ ゴミの廃棄

- ・鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用する。
- ・マスクや手袋を脱いだ後は必ず石鹸と流水で手を洗い、手指を消毒する。

(6) イベント後の留意事項

- ① 万一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら参加者名簿を作成し、参加者より提出を求めた書面を、保存期間（少なくとも1ヶ月以上）を定めて保存しておく。
- ② 参加者及び主催者がイベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、必ず施設及び保健所へ速やかに報告する。

「体調チェックリスト」

以下の個人情報は、イベント開催における新型コロナウイルス感染拡大防止対策以外の目的では使用いたしません。

記入日 年 月 日

氏名		年齢	
住所			
電話番号			

※個人情報の取扱いには十分注意いたします。

体 温	度 分
-----	-----

本日より過去2週間以内の体調についてご確認ください。

以下の項目にあてはまるすべてにチェック✓を入れてください。

※すべてにチェックが入った方のみ入場できます。不安な方は指導者へお声をおかけください。

- 平熱を超える発熱はない（おおむね37度以上）
- 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状はない
- だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）はない
- 嗅覚や味覚に全く違和感はない
- 体が重く感じる、疲れやすい等はない
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触はない
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方はいない
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触はない